

令和 7 年度第 1 回富里市男女共同参画社会づくり懇談会
議 事 錄
〈日時〉 令和 7 年 10 月 22 日 (水)
午後 2 時 00 分～3 時 00 分
〈場所〉 すこやかセンター 2 階会議室 1

■出席者

【委 員】 渡邊 薫（教育関係者）
國司 恵子（富里市商工会理事）
田中 由美（成田公共職業安定所 所長）
田口 実栄子（千葉県男女共同参画地域推進員）
川北 謙（まちづくりコーディネーター）
小田 千賀子（富里市民生委員児童委員）
小澤 喜宏（公募委員）
酒井 美知子（公募委員）

【事務局】 山崎経営戦略課長、須永課長補佐、山川主査、若梅主事

【傍聴人】 なし

■配布資料

- ・令和 7 年度第 1 回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第
- ・【資料 1】 令和 6 年度進捗状況報告書
- ・【資料 2】 令和 6 年度進捗状況調査票
- ・【資料 3】 富里市男女共同参画計画（第 3 次）全体版
- ・【資料 4】 富里市男女共同参画計画（第 3 次）概要版
- ・【資料 5】 富里市男女共同参画社会づくり懇談会設置要綱

■ 次第

1 開会

2 委嘱状交付

五十嵐市長から委員へ委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 座長及び座長職務代理者の選任

座長は、互選により渡邊委員に決定

職務代理者として、渡邊座長が國司委員を指名

5 議題

(1) 富里市男女共同参画計画（第3次）令和6年度進捗状況について

【事務局】資料1に基づき説明。

【委 員】

- ・外国人支援窓口への相談件数について、目標値が年40件とあり、令和6年度は年549件と大幅に超えているが、内容面で、男女共同参画で何かできることがあれば教えてほしい。

【事務局】

- ・外国人支援窓口について、令和6年度は転入転出とともに外国人がかなり多くなっているため、件数が大幅に増加した。その中で、男女共同参画までは、取り組めていなく、外国人に対して日本で生活するためのルールの周知等を行っている状況である。

【委 員】

- ・今後、外国人に限らず、男女共同参画の取組ができれば良いと思う。

【委 員】

- ・資料1の11ページで、地域包括支援センターへの相談件数と自立支援相談窓口相談受付件数について、「令和3年度と比べると目標値に近づいているが、今後も目標に向けて推進する」とあるが、具体的にどんなことをするのか。

【事務局】

- ・現在は、様々な相談を受け付け適切な支援・見守り等に結びつけるなど、きめ細やかな相談体制が可能となっているが、窓口では様々な相談に対

し、総合的に対応を行っているため、事務局で具体的なことは把握していない。

【委 員】

- ・補足になるが、数値目標が高いのは、今後高齢者の数が増えるからであり、現在見過ごしている高齢者の方々をどうピックアップしていくかを担当課で考えていると思う。ただし、相談が無ければ、無い方が本当は良いので、数値が高くなつたときも注意が必要。

【委 員】

- ・ケアが行き届いていれば、相談件数も減ると思われる所以、相談が増えれば良いというわけでもない。

【委 員】

- ・「男性職員の育児休業取得の割合」が増加したとあるが、実際どのくらいの期間取得したのか。
- ・「管理的地位にある職員に占める女性の割合」について、11.5%と年々上がってきてはいるが、女性を集めた管理職に就くに当たっての意見交換会や現管理職の方からのレクチャーや悩み事相談などの取組事例があれば教えていただきたい。
- ・外国人支援窓口への相談件数の増加について、外国人の割合は、千葉県の中でも富里市は最も高いということで、補足にはなるが、外国籍の方で、男性は、若干日本語がわからなくても、力仕事があるため賃金が高いという状況である。

【事務局】

- ・男性の育児休業の期間について、3週間程度が1名、1か月半程度が1名である。
- ・女性の管理職に関する取組事例について、課長研修等の研修があることを周知している。また、令和7年度については、5名の管理職が女性となつたため、令和7年度の実績値は増加すると思う。

【委 員】

- ・男性の育児休業については、パパママ育休プラスなどがあり、お母さんとお父さんが同時に育児休業を取得すると少し期間が長くなるといったものもあるが、男性が育児休業を取得する期間について、一般企業は3週間程度が多い状況である。また、少しずつ男性の取得期間が長くなっているという印象がある。
- ・女性の管理職の育成について、取組をされているが、キャリアプランを考える中で躊躇してしまう若手がいるということは民間企業でもよく聞く。引き続き取り組んでほしい。

【委 員】

- ・外国人の話が出ている中で、日本語教室の開講数が3教室とあり、富里市はいろいろな外国籍の方がいるが、それぞれの言語で実施しているのか。

【事務局】

- ・日本語教室については、国際交流協会が実施しており、日常的な英会話を学ぶというものであるため、それぞれの言語に対応して実施はしていない。

【委 員】

- ・「地域活動に参画できるような環境の整備」について、令和6年度実績の記載はあるが各種講座等を実施したことによる成果や課題等はあったか。

【委 員】

- ・セミナーに参加した人には、結果の報告が来る。しかし、それによって、どういう風に変わったかといったことは来ていない。

【事務局】

- ・内容としては、男女の偏りなく、地域活動に关心を持つてもらいうイベントや地域活動の担い手を発掘・育成するための各種講座に参加していただけだ。令和6年度の実績としては、まちづくりサポーター養成講座4回、みんなでボランティア体験1回、団体支援講座2回、まちづくり交流会7回、コーディネーターのちょこっとセミナー5回を実施した。

【委 員】

- ・担い手の方たちは、どういう人たちが増えて、その結果どうなったのかを知りたい。もし、できていないのであれば、懇談会なので、どんな形でやったら皆さんに参加していただけるのかということを委員それから意見を集めても良いと思う。担い手という部分で、男女問わず、自分たちに何ができるのか委員の意見等をお聞きしたい。

【事務局】

- ・実施したことによる成果や課題等については、担当課に確認をし、後日回答する。

【委 員】

- ・実際の成果について、アンケート等を実施し、参加者の声を聴いている。個人の意見として、あまり発展できている実感はそこまでない。

【座 長】

- ・事務局で、担当課に確認していただいて、担当課は把握していると思うので、成果や課題等を踏まえて回答してもらえればと思う。

【委 員】

- ・アンケートについて、令和3年度に実施されていて、資料3に結果がまとめられており、5か年計画とあるが、またこのような市民へのアンケート調査を実施する予定があるか。

【事務局】

- ・今回の計画が令和9年度までであるため、令和8年度に実施する予定。

6 その他

- ・地域推進員の活動について委員から報告。

7 閉会